



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 ウェーブロックホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7940 URL http://www.wavelock-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 木根 潤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 石原 智憲 TEL 03 (6830) 6000
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,649	—	744	—	824	—	598	—
29年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 599百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	61.41	60.99
29年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 平成29年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を開示していないため、平成29年3月期第1四半期の数値および平成30年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、平成29年4月10日に東京証券取引所市場第二部に上場したため、平成30年3月期第1四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、新規上場日から平成30年3月期第1四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	28,688	—	9,545	—	33.2	—
29年3月期	28,541	—	8,957	—	31.2	—

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 9,522百万円 29年3月期 8,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,300	—	1,000	—	1,160	—	830	—	85.18
通期	28,100	4.5	1,650	21.3	1,990	17.3	1,430	29.1	146.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	11,120,538株	29年3月期	11,120,538株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,376,673株	29年3月期	1,376,673株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	9,743,865株	29年3月期1Q	－株

（注）平成29年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を開示していないため、平成29年3月期第1四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信と同時にT D n e t で開示しており、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、欧米の政策不安や中国をはじめとする新興国経済の減速等、海外経済の不確実性の高まりから、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループでは、生産合理化や経費削減によるコストダウンと国内市場での更なるシェアアップを図るため、成長分野への経営資源の投入と販売の拡大を図ってまいりました。

この結果、当社グループ全体の売上高は76億49百万円、営業利益は7億44百万円、経常利益については、負のれんの償却等により8億24百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億98百万円となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。なお、セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(インテリア事業)

インテリア事業については、新設住宅着工戸数が回復基調で推移する中、当社の業務資本提携先である(株)サンゲツの壁紙見本帳への当社グループ製品の掲載点数の増加等が、引き続き販売に寄与し、売上高は21億73百万円となりました。また、生産能力の増強による増産体制の構築、ならびに生産効率の向上による原価低減や継続的なコスト削減に努めた結果、セグメント利益は2億15百万円となりました。

(編織事業)

編織事業については、生活資材分野における園芸用品の防草シート等が好調に推移したものの、網戸用品の販売が一部前年度に前倒しされたこと等の影響もあり、売上高は28億36百万円となりました。また、生産効率の向上による原価低減や継続的なコスト削減に努め、セグメント利益は4億28百万円となりました。

(産業資材・包材事業)

産業資材・包材事業については、産業資材分野において、建設および住宅関連業界での堅調な需要や民間住宅投資の回復に加え、防煙垂壁用途の高透明不燃シート等が好調に推移しました。また、包材分野においては、コンビニエンスストア向けの食品容器が底堅く推移し、また、一部製品の値上げも寄与した結果、事業全体の売上高は23億46百万円となりました。また、生産効率の向上による原価低減や継続的なコスト削減に努め、セグメント利益は1億28百万円となりました。

(アドバンステクノロジー事業)

アドバンステクノロジー事業については、金属調加飾フィルム分野においてインド・東南アジアにおけるエンブレム用途の新規採用や中国での自動車内装案件等が好調に推移し、国内内装案件の既存モデルの終了をカバーする形で案件の組替が順調に推移しました。PMMA/PC2層シート分野においては、中国市場向けや車載向けの案件の受注が低調に推移しました。その他、医療用湿布基材の受注も低調であったことから、事業全体の売上高は8億42百万円となりました。また、品質の安定化と生産効率の向上やコスト削減に努め、品質改善によりクレーム補償費が減少した結果、セグメント利益は60百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は154億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億24百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3億64百万円、商品及び製品が2億33百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が8億98百万円増加したことによるものであります。固定資産は132億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が97百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、286億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は108億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億21百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が1億13百万円、賞与引当金が1億76百万円減少したものの、短期借入金が5億円増加したことによるものであります。固定負債は82億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億63百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が6億41百万円、負ののれんが97百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、191億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億41百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は95億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億87百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を5億98百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は33.2%（前連結会計年度末は31.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年7月18日の「平成30年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,062,041	1,697,274
受取手形及び売掛金	7,292,369	8,191,163
商品及び製品	3,903,501	3,669,638
仕掛品	399,230	394,223
原材料及び貯蔵品	1,048,137	1,083,390
その他	562,694	456,530
貸倒引当金	△27,689	△27,295
流動資産合計	15,240,287	15,464,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,112,751	4,064,634
機械装置及び運搬具(純額)	1,802,473	1,715,521
土地	5,353,118	5,353,118
建設仮勘定	322,431	333,328
その他(純額)	277,657	303,915
有形固定資産合計	11,868,431	11,770,518
無形固定資産		
投資その他の資産	246,713	258,009
投資有価証券	278,698	299,927
その他	930,596	917,967
貸倒引当金	△23,033	△23,033
投資その他の資産合計	1,186,262	1,194,861
固定資産合計	13,301,408	13,223,389
資産合計	28,541,695	28,688,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,808,533	3,973,460
短期借入金	1,800,000	2,300,000
1年内償還予定の社債	500,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,634,198	2,583,699
未払法人税等	180,935	66,951
賞与引当金	352,839	176,776
その他	1,290,067	1,387,639
流動負債合計	10,566,575	10,888,527
固定負債		
社債	560,000	530,000
長期借入金	5,322,051	4,680,956
退職給付に係る負債	2,070,651	2,073,546
負ののれん	795,490	698,324
資産除去債務	64,401	64,597
その他	204,607	206,672
固定負債合計	9,017,202	8,254,096
負債合計	19,583,778	19,142,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,185,040	2,185,040
資本剰余金	666,419	690,079
利益剰余金	6,598,288	7,196,616
自己株式	△719,999	△719,999
株主資本合計	8,729,747	9,351,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,811	75,356
為替換算調整勘定	120,386	103,935
退職給付に係る調整累計額	△11,998	△8,997
その他の包括利益累計額合計	170,199	170,294
新株予約権	7,550	7,550
非支配株主持分	50,420	16,111
純資産合計	8,957,917	9,545,691
負債純資産合計	28,541,695	28,688,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,649,958
売上原価	5,661,082
売上総利益	1,988,876
販売費及び一般管理費	1,244,263
営業利益	744,612
営業外収益	
受取利息	106
受取配当金	2,212
負ののれん償却額	97,166
持分法による投資利益	1,357
その他	23,159
営業外収益合計	124,002
営業外費用	
支払利息	22,171
株式公開費用	12,000
その他	10,107
営業外費用合計	44,279
経常利益	824,336
特別損失	
固定資産除却損	408
特別損失合計	408
税金等調整前四半期純利益	823,928
法人税、住民税及び事業税	87,806
法人税等調整額	135,046
法人税等合計	222,852
四半期純利益	601,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,747
親会社株主に帰属する四半期純利益	598,328

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	601,075
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	13,545
為替換算調整勘定	△16,467
退職給付に係る調整額	3,001
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,306
その他の包括利益合計	△1,227
四半期包括利益	599,848
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	598,423
非支配株主に係る四半期包括利益	1,424

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インテリア	編織	産業資材 ・包材	アドバンスト テクノロジー			
売上高							
外部顧客への売上高	2,043,297	2,492,513	2,286,633	827,513	7,649,958	—	7,649,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130,172	344,240	60,107	14,558	549,078	△549,078	—
計	2,173,470	2,836,753	2,346,741	842,071	8,199,037	△549,078	7,649,958
セグメント利益	215,339	428,396	128,597	60,563	832,897	△88,284	744,612

(注) 1. セグメント利益については、セグメント間取引消去5,379千円、事業セグメントに配分されていない当社の損益△93,663千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。